

平成 23 年（2011 年）1 月 11 日（火）

北海道教育大学附属札幌小学校
教諭 岡田 一伸

指導と評価の一体化をよりよく実現する言語活動を目指して

～一人一人の子どもが確かに自信をもてるために～



資料内容

1. 本報告の意図
2. 自校の年間指導計画
3. 実践単元のねらいと
　　言語活動設定の意図
4. 授業の実際
5. 成果と課題
6. 今後に向けて

目次

1. 本報告の意図
2. 自校の年間指導計画
3. 実践単元のねらいと言語活動設定の意図
4. 授業の実際
5. 成果と課題
6. 今後に向けて

その1

言語活動を通して指導事項を指導する

…具体的にはどうするとよいのか

4月から全面実施となる学習指導要領では、指導事項を言語活動を通して指導していくと、強く意識する必要がある。

では、具体的にはどうするとよいのか。

言語活動そのものの教材研究を含めて考えてみたい。

今回は、読むこと領域（5・6年生）の指導事項工と才についての実践と考察について報告したい。



その2

子どもたちの状況をとらえ、指導に生かし、力を高める

…具体的にはどうするとよいのか

日々の子どもたちとの学校生活から、“今日の前にいる子どもたち”的な状況をどうとらえ、どう育てていきたいと願うのか。大きな意味での目指す子どもの姿をどう設定しているのかを報告したい。

また、こうした願う子どもの姿を実現するために、そしてそのためにとても大きな意味をもつ国語科の目標をどう実現していくとしているのかについて報告したい。



目次

1. 本報告の意図
2. 自校の年間指導計画
3. 實践単元のねらいと言語活動設定の意図
4. 授業の実際
5. 成果と課題
6. 今後に向けて

昨年発行した、自校の年間指導計画

昨年度発行した自校の年間指導計画では、以下の3つのポイントを柱として作成した。

- 学習に「自分」を位置付ける
- 伝え合うべきは「根拠」
- 目的・意図の明確な言語活動を

ひとつめの「自分」に込めた意図は「自分を表現すること」。二つめの「根拠」に込めた意図は、話し合うことを通してお互いを分かり合うためには、個々の考え方の理由について考え合うことが大切であるということ。三つ目の「目的・意図」に込めたものは、指導と評価のポイントを焦点化すること。

今回報告する「読むこと」領域では

文学的文章単元 I

本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考え方を広げたり深めたりする。伝記を読み、自分の生き方について考える。

文学的文章単元 II

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れていると思ふ叙述を選び自分の考えをまとめる。

文学的文章単元 III

本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考え方を広げたり深めたりする。本を読んで推薦の文章を書く。

文学的文章単元 IV

目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。

目次

1. 本報告の意図
2. 自校の年間指導計画
3. 実践単元のねらいと言語活動設定の意図
4. 授業の実際
5. 成果と課題
6. 今後に向けて

今回報告させていただくのは、『生き方を見つめて読もう 大造じいさんとがん』(文学的文章単元Ⅱ)、『本の世界を深めよう 雪わたり(『やまなし』を含む)』(文学的文章単元Ⅲ)である。

順を追って、『大造じいさんとがん』、『雪わたり』(『やまなし』)でのねらいと言語活動の設定意図を述べる。

(1) 年間を通して目指す子どもの姿は

前述の自校教育課程で記したとおり、3つのポイントを柱として国語科の授業を作るのであるが、その土台となるものとして、以下のような本校児童の状況がある。

これまでに見てきた子どもたちの意識調査からは、「自分は友達のよさを認められる」「自分は友達に認められている」という子が増えている一方で、自己への肯定的な感情が低く、自信がないと考えている子もまた増えていることがわかりました。

これら二つの矛盾する結果は、私たちに次のような子どもの姿を思い浮かばせました。表れ方には大きな違いがあるけれども、心の中には同じ不安を抱えながら共に学校生活を送っている子どもたちです。(平成22年7月 北海道教育大学附属札幌小学校 研究紀要57より 資料2を参照のこと)

(2) 各単元では何を

自己への肯定的な感情を高める授業作りをめざして、『大造じいさんとがん』では、二つの視点から授業作りを行った。具体的には、

○一人一人に判断を問う学習課題の設定

大造じいさんにとって「ひきょう」って何?

→自分とは違う見方や考え方をもつ他者の存在を強く意識できるようにする

○互いの根拠を問題としながら話し合わることで子どもの自尊感情を高めていく交流

理由を聞いて、なぜそう考えたのかが分かったよ。

→一つの正解に絞られない、それぞれの「自分の考え」が、その根拠を問題として話し合われることによって「自分が他者から認められた」という実感がもてるようになる。

この実践を通して、「自分の考え」をもてる子が増えたり、「自尊感情」の高まりが期待できたりするなどの成果が得られた。一方課題として、一人一人の判断を促す以上、その根拠となる「文章内容の正確な理解」をどう図っていくことがよいのかが明確になった。

資料3 『大造じいさんとがん』授業の実際 を参照のこと

目次

1. 本報告の意図
2. 自校の年間指導計画
3. 実践単元のねらいと言語活動設定の意図
4. 授業の実際
5. 成果と課題
6. 今後に向けて

(3) ねらいと状況をもとに言語活動を設定する

そこで、文学的文章単元Ⅲでは、以下の2つのポイントを柱として授業作りを行うこととした。

○子どもが、文章を読む目的を、わかりやすいものとする。

『雪わたり』は題名にふさわしいかな

『やまなし』と『かわせみ』ではどちらが題名にふさわしいかな

→既習事項である「話すこと・聞くこと」領域の「討論」

活動を活用して、文章を詳細に自分で読む意欲を高める。

○子ども一人一人に表現する機会を作り、そこに至る準備の過程で繰り返し、指導と評価を行う。

「討論会をしよう」での学習を生かして、文章をもとに自分の考えを作ってみよう。

→「自分たちの主張」「主張する理由・文章中の言葉」、「予想される質問や反論」など一人一人に考え、表現するべきことがあり、グループで協同作業をすることで、自然と交流が生まれる。ワークシートにまとめられたことについて、事前に教師が指導する機会が確保でき、子どもの反応を受けて、繰り返し指導することができる。(反応を受けて、評価することが次への指導につながる。)

具体的なものとして、『雪わたり』の一読後にとったアンケート調査とまとめたものを資料として見ていただきたい。

(4) 表現する場があって、指導と評価が繰り返される

資料4 『雪わたり』指導のために①、②、③である。中で抽出した児童は、②、③ともに題名への判断について文章中から根拠を見出している、見出そうとしていることが見て取れる子たちである。

②は『雪わたり』が題名としてふさわしくないと考えた子たちで、③はふさわしいと考えた子たちである。そして、No.7, 33, 9, 37の子たちは内容の読み取りがさらに進むと、自分の考えが根拠を明確にした説得力のあるものになっていくことが期待できる。

今回、『やまなし』を組み込んだのは、より、抽象度の高いと考えられる物語で題名の適否を考え合うことが、『雪わたり』での自分の判断を見直すきっかけになると考えたからである。

(詳しくは資料5、『やまなし』学習指導案、板書、授業映像を参照のこと。) こうした、意図をもって設定した言語活動を通して、ねらいにある「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。」ことがどの子にも実現するように、討論に向けてのワークシートをもとに指導と評価を繰り返して行ったのが資料6である。

目次

1. 本報告の意図
2. 自校の年間指導計画
3. 実践単元のねらいと言語活動設定の意図
4. 授業の実際
5. 成果と課題
6. 今後に向けて

その1

言語活動を通して指導事項を指導する

…具体的にはどうするとよいのか

どの子にも「頑う子どもの姿、国語科のねらい」の実現に向けてよい言語経験をさせたい。今回は、読むことの指導事項エ「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」、オ「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」を指導するために効果的な言語活動についての試行錯誤を報告させていただいた。

今回の「話すこと・聞くこと」領域の言語活動「討論」を「読むこと」のねらいを実現するために位置付ける試みは、以下の3点の効果があると考えられる。

- ① 討論というわかりやすい目的があるため、文章を自分から詳細に読もうとする姿が生まれやすい
- ② 子どものワークシートを通しての指導が確実にできる
- ③ 子どもたちにとって交流する必然が生まれやすく、自分の考えが相手にわかってもらえたという実感が得られやすい

その2

子どもたちの状況をとらえ、指導に生かし、力を高める

…具体的にはどうするとよいのか

今回は、「題名に内容があると思っていると思うか話し合ってみよう」という提案に対して、子どもたちがどう反応し、どう指導につなげてみたかという報告をさせていただいた。

その1でもふれたが、まず、表現する場が全員にあって、そのためには準備をする過程で、読むことのねらいに近づけていくための指導が可能になった。状況のとらえ方は、指導者の提案の仕方によつて変わるものであると考えられるので、ねらいにそった学習の方向付けが指導と評価を可能にするのではないだろうか。

自分の考え方に基づいて言葉を活用する学習 年間計画書

（後期）10・11月 12・1月 2・3月

国語学年 第4学年 第1回（前期） 4・5月 6・7月

【話すこと・聞くこと】 年間 25時間

通年 説しうる古文や漢文、近代以降の文語調の文章について内容の大体を知り、音読する。解説した文章を読み、昔の人との見方や感じ方を知る。

通年 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列を決める。書く速さを意識する。

【話すこと・聞くこと】 年間 10時間

専ねてみる単元
(インタビュー的活動の系列)

話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりする。

【話すこと・聞くこと】 年間 10時間

引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く。事物のよさを多くの人に伝えるための文庫を書く。

単元 I
自分の経験について語べ、意見を記述した文庫や活動を報告した文庫などを書いたり編集したりする。事実と感想、意見などを区別するとともに目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。

単元 II
自分の経験について語べ、意見を記述した文庫や活動を報告した文庫などを書いたり編集したりする。事実と感想、意見などを区別するとともに目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。

【読むこと】 年間 60時間

自分の思いや考へが伝わるように音読や朗読をする。

文学的文章単元 I 説明的文章単元 I
本や文庫で読んだことや感想を述べたりして、自分の考へを明確にして読む。掲載の仕方や配事の書き方に注意して新聞記事を読む。(比べて) 読む。

文学的文章単元 II 説明的文章単元 II
登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れているところを評議し合い、自分の考えを明確にして読む。掲載の仕方や配事の書き方に注意して新聞記事を読む。

【話すこと・聞くこと】 年間 5時間

通年 説しうる古文や漢文、近代以降の文語調の文章について内容の大体を知り、音読する。解説した文章を読み、昔の人との見方や感じ方を知る。

通年 目的に応じた道具を使んで書く。毛筆を使用して穂先の動き、点画のつなぎを意識して書く。

【話すこと・聞くこと】 年間 10時間

会議をする単元
(話し合い的活動の系列)

互いの立場や意図をはつきりさせながら、計画的に話し合う。事物や人物を伝わるように話の構成を工夫し、適切な言葉遣いで話す。調べたことやまとめたことについて、討論などをする。

【話すこと・聞くこと】 年間 10時間

会議をする単元
(話し合い的活動の系列)

互いの立場や意図をはつきりさせながら、計画的に話し合う。事物や人物を伝わるために話の構成を工夫し、適切な言葉遣いで話す。調べたことやまとめたことについて、討論などをする。

【話すこと・聞くこと】 年間 5時間

会議・討論をする単元
(話し合い的活動の系列)

目的や意図に応じて事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫し、適切な言葉遣いで話す。調べたことやまとめたことについて、討論などをする。

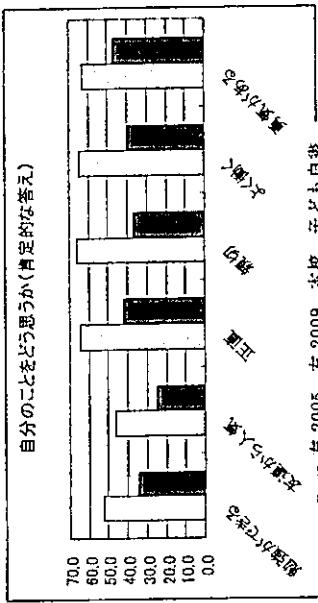
【話すこと・聞くこと】 年間 10時間

文学的文章単元 IV
目的に応じて、複数の本や文庫などを選んで読む。

文学的文章単元 III
説明的文章単元 III
目的に応じて文庫の内容を的確に押さえて要旨を理解したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句を作ったり、物語や随筆などを書いたりする。書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して話し合う。

文学的文章単元 II
説明的文章単元 II
自分の課題を解決するために意見を述べた文庫や解説の文章などを利用する。

もう一つは、「自分をどういう子だと思うか」という質問への答えです。4年前に比べて、肯定的な答えた割合が低下しています。



自己への肯定的な感情が低く、自信のない子どもたち
「自尊感情」

これまでに見てきた子どもたちの意識調査からは、「自分は友達のよさを認められる」「自分は友達に認められている」という子が増えており、一方で、自己への肯定的な感情が低く、自信がないと考えている子もまた増えていることがわきました。

これら二つの矛盾する結果は、私たちに今のような子どもたちの姿を思い浮かばせました。裏側には大きな違いがあるけれども、心の中に同じ不安を抱えながら共に学校生活を送っている子どもたちです。

青山学院大学教授の古井純一氏は、自信と関連の深い自尊感情（自分自身をどう受け止めているのか）と子どもとのかかわりにおいて、高い子どもは、逆境に強く、いじめに屈することも少なく、失敗に動じない傾向があり、低い子どもは、その逆の傾向のあることを紹介しています。そして、オランダなどの諸外国との比較調査を通して、日本の子どもたちの自尊感情が非常に低いことを指摘し、その理由を様々な観点から考察する中で、子どもを取り巻いている家庭、学校、社会環境要因に倣るところの大ささを述べています。

例えば、日本の子どもたちが幼いときから周囲の大人からの強い期待に対して過剰に反応しようとすることへの反動、学校の授業で自分が相手にされたくないと感じる経験の積み重ね・・・。いずれもが、子ども自身に「自分はどこのに足りない存在である」という、自尊感情を下げさせてしまう要因になります。そういう警鐘です。

自分は発表が得意だと強く思う子が、授業や他の活動でも意見をどんどん出していく姿からは、伸び伸びした活発な子どもの心が想像されます。しかし、その子どもたちの中にも、実は多くの面で自分に自信がもてていない子が少なからず存在します。その子たちにとっては、発表することで友達に対して積極的にかかわろうとしているというよりも、教師や保護者などへの期待に対して、発表することを応えよう、自分を認めてもらおうという意図が強く働いている可能性を考える必要があるのではないかでしょうか。

自分からは強くかかわるとはしない子の心

また、そのような子どもとともに過ごしている「あの子はすごいな」とか「そういう考え方もあるんだな」と友達の様子に感心しながらも自分からは強くかかわるとはせず、話しかけたり活動の成り行きを見守る子。こうした子たちにとって、自分自身を肯定的に受け止める気持ちいい、どのように育つのでしょうか。そして、子どもたちが日々の生活の基盤となる学級は「自分に自信をもたせてくれる集団」と成り得ているのでしょうか。

学級や学年、学校という集団は、子どもたちが将来への夢や希望をもつための自信を得るために欠かすことのできない「他者」であるは必ずです。私たちは、これまでに見てきた子どもたちへの意識調査を通して、改めて考える必要があることを感じました。それは自分に自信をもたせてくれる集団づくりには何が大切なかということです。

望ましい集団づくりへ。時には驚くことがあるかもしませんけれど、きっと自分を受け止めてくれる、うまくいくことばかりではないかも知れないけれど自分があかわることによって何か新しいことが得られるはずだ・・・。そうした「他者を信頼して行動できる」人間関係をつくること。私たちはそこに解決への糸口を求めました。

こうして、子どもたちが「他者への信頼を高める」ことに解決の方

向を見出そうとした私たちに、次の調査結果が目に留まりました。

「仲間はずれになっている友だちをみたらどうするか」



1 声をかけたいができない 2 あまり気ににならない 3 仲間はずれにならぬようあわよくばうする
のだから放つておく 4 声をかけるように心がける 5 仲間はずれにならぬようあわよくばうする

このデータでは、仲間はずれになつている友達に積極的なかわり行動につなげます。しかし、そのこと自体は問題です。しかしその一方で、具体的な行動にはまでは結び付いていませんが、「心がける」という意識の段階では確実に増えていることがあります。

このデータでは、仲間はずれになつている友達に積極的なかわり自分が行動することにはならないとしても、自分から行動をおこすことが何かの変化を生むばかりでなく、「他者への信頼」を高めることによって、子どもの心に「強さ」を育み、「優しい関係」を築ける人を育てることができる。・私たちはそぞう考えてみることにしましたのです。

他者の信頼
が強くなる
集団の醸成
をつくる

資料3

『生き方を見つめて読む』「大造じいさんとがん」（教育出版 5年上）を通して

1. 授業の実際

- ① 全文通読後、難語句調べを行う
 - ② 難語句の交流をしながら重要語句の意味を確認し合う（例　いまいましく）
 - ③ 物語の全体を大よそ理解できるように整理し、大造じいさんの行動について疑問に思ったり、みんなで話し合うと楽しそうな問題を考えたりする

※子どもたちの疑問等一覧をご覧ください。

学習の実際

- ・題名と内容を比べて感想を述べ合う（なぜ“がん”なのかな。残雪の方がよさそう。）
 - ・場面1と4を読み、大造じいさんががん（残雪）をどう思っているかが分かる叙述を見つけて比べてみる
 - ・各場面の時間を表す言葉を見つけさせ、足かけ三年にわたっての話であることを確認
 - ・残雪の来る前と来るようにになってからの大造じいさんの生活の変化を予想し話し合う
 - ・各場面でのじいさんの行動（作戦）を確かめ、場面一にある通り、残雪との戦いが「特別な作戦」であることを確かめる



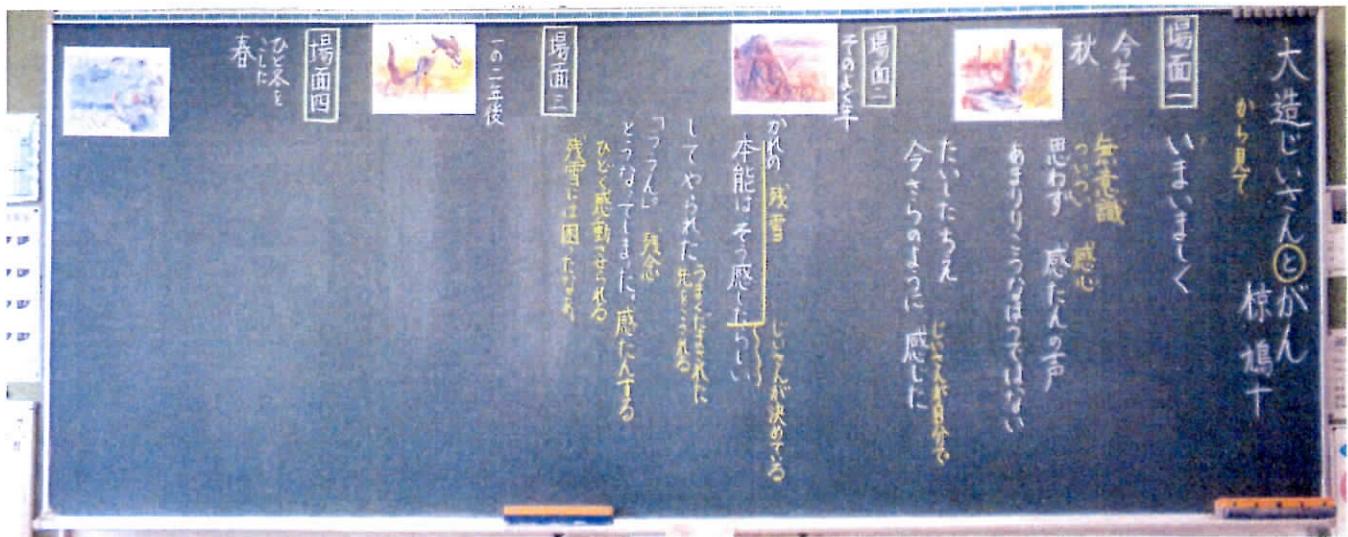
- ④ 疑問について、話し合うことを通して解決する

子どもたちの疑問から、簡単に解決できるものは子どもたちに話させて解決し、主題にかかわる重要なものは、取り上げて教師も意図的にかかわりながら話し合う

子どもたちの疑問を一覧にして整理し、中で3と4の場面のじいさんの言動に疑問が集中していることを確かめ合った。

北海道教育大学附属札幌小学校 岡田一伸

そこで、場面三の「ふたたびじゅうを下ろして」しままでのじいさんの心情を表す言葉を見つけ、その変化を考えるという解決方法を提示し、取り組むこととした。



場面二まででじいさんの残雪に対する心情が変化していることを共通理解した上で、場面三の主題にかかる疑問「じいさんが強く心を打たれたものは」に取り組んだ。



ここで、場面二で共通理解した「かれの本能はそう感じたらしい」の推量表現「らしい」への着目が既習事項として活用された。つまり、強く心を打たれたものが、じいさんの目から見た様子、つまりじいさんの心情が強くかかわって、結果としてそう思えたという「ようだ、ようでも」といった推量表現で表されていることに気付いていったのである。

残雪への共感を強くもっていた子どもたちも、「残雪がすごかったから」強く心を打たれたことは心にもちつつも、そう感じるようになったじいさんの心情の変化を強く意識できるようになっていった。

⑤ 登場人物の言動や物語の終わり方について自分なりの判断をする

こうした学習を経て、場面四の学習へと進んだ。この場面では、じいさんが残雪を逃がすという行動の意図を踏まえて、自分ならどうするかという判断をすることが目標となる。考えるための鍵になる言葉として、「ひきょう」を位置付けた。また、他の獣師から見て、じいさんの行動はどう見えているのだろうか考えてみる活動も取り入れた。

「自分なら、逃がすかそれともつかまえるか」じいさんの言動とその意図を踏まえたうえで判断するための1時間である。板書の左下には、ネームカードでその時点での判断を見る形で位置付けた。そのときに理由を話させた子たちは、どちらとも言えないとした真ん中の子たちである。なぜならば、じいさんへの共感をもちつつも、物語に少し距離を置いて見る（逃がしたらその後どうなるのか、他の獣師たちはどう思うのか）といった両方の見方をもっている。そのため、「にがす」とした子も「つかまえる」とした子も自分の考えを明確にしたり、見直したりするきっかけになるとえたからである。もちろん、真ん中の子たちがその時点での迷いをはっきりと表し、自分ならどうするかへの根拠を選択するきっかけとなることも期待した。



2. キーワードにかかわる補足

【自尊感情と子ども】

青山学院大学教授の古荘純一氏は、自信と関連の深い自尊感情（自分自身をどう受け止めているのか）と子どもとのかかわりにおいて、高い子どもは、逆境に強く、いじめに屈することも少なく、失敗に動じない傾向があり、低い子どもは、その逆の傾向のあることを紹介しています。そして、オランダなどの諸外国との比較調査を通して、日本の子どもたちの自尊感情が非常に低いことを指摘し、その理由を様々な観点から考察する中で、子どもを取り巻いている家庭、学校、社会環境要因に依るところの大きさを述べています。例えば、日本の子どもたちが幼いときから周囲の大人からの強い期待に対して過剰に反応しようとすることへの反動、学校の授業で自分が相手にされていないと感じる経験の積み重ね・・・。いずれもが、子ども自身に「自分はとるに足りない存在である」という、自尊感情を下げさせてしまう要因になり得るのではないかという警鐘です。

3. 事後に行った評価にかかる補足

今後の課題としては、一人一人に根拠のある判断を求めるために、どう文章の内容を理解させていくかが挙げられる。

上記の「今後の課題」についてであるが、学習が終了した後に事後評価として以下の3つの質問をした。

質問1

最後の場面で大造じいさんは、「おうい。がんの英ゆうよ。おまえみたいなえらぶつを、おれは、ひきょうなやり方でやっつけたかないぞ。なあおい。今年の冬も、仲間を連れて、ぬま地にやってこいよ。そうして、おれたちは、また、堂々と戦おうじやあないか。」とよびかけています。大造じいさんの言う「ひきょうなやり方」とはどのようなやり方のことを指していると考えられますか。そして、そう考える理由を教えてください。

質問2

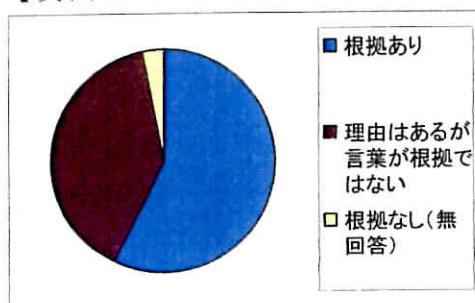
この学習を通して、「自分ならどうするか」(例、自分なら残雪を撃つ？それとも撃たない？など) ということを考えることを経験してもらいましたが、「大造じいさんがじゅうをおろしてしまった時の気持ちを考えよう。」という問題を考えていく学習と比べてみて、読み取る力はどちらが付きやすいと思いましたか。

質問3

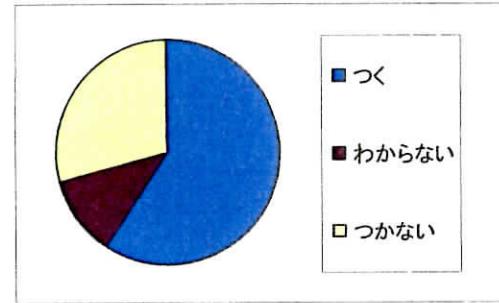
自分ならどうするかを考えて、意見を交流する学習には正しい一つの答えはありません。ただ、交流する中で自分とは違うけれども、理由を聞いて「なるほど」と思ったことはありましたか。また、自分の考えに友達が反応してくれて、うれしかったことはありましたか。

質問への回答を整理してみると以下のようにになった。

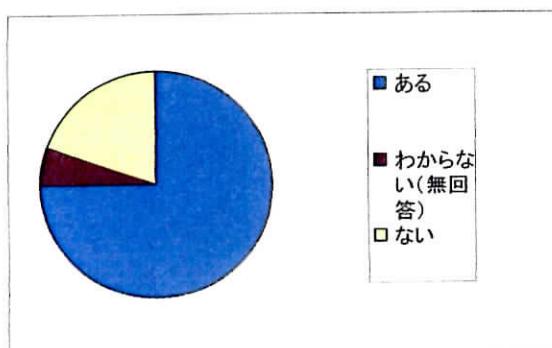
【質問1への回答】



【質問2への回答】



【質問3への回答】



質問2への回答で、「自分なら…」を選択した子でかつ質問3に「ある」を選択した子は90パーセントであった。この学習方法が自尊感情を高めていく可能性が見て取れる。「自分なら…」タイプの学習課題を中心として、判断するための読み取りをどう深められるようにするかという課題に対して、自分ではそうしないがじいさんは何故そうしたのかと自問した子が、「強く心を打たれた」という部分の表現に答えを求めていたことは一つの手がかりとなった。

資料4

『雪わたり』指導のために①

5年1組

この物語を一文でまとめる 領題と内容は合っているか

No.	氏名	ふりがな	文	題	合・X
1		四・か	けん灯会	しづてり	X
2					△
3					○
4					X
5					X
6					
7	①→抽出	四・か	きつね	けん灯会	X
8					
9	⑨→抽出	四・か	きつね	けん灯会 行く	X
10					○
11		四・か	けん灯会	行く	X
12		四・か	きつね	友達	X
13					X
14	⑭→抽出	四・か	きつね	けん灯会 行く	○
15					△
16					X
17		四・か	きつね	けん灯会 行く	X
18					X
19	⑯→抽出	四・か	きつね	仲良	X
20					○
21					○
22		四・か	きつね	ケン灯会 よはれ	X
23	㉓→抽出	四・か	きつね	ケン灯会 よはれ	X
24					
25					△
26		四・か	けん灯会	行く	X
27					○
28					○
29					○
30		人・四・か	きつね	を信ひ あぬかたたひじと食べる	○
31	㉛→抽出	人・四・か	きつね	を信ひ あぬかたたひじと食べる	△
32					X
33	㉜→抽出				○
34					
35					△
36					X
37		四・か	きつね	けん灯を準備	○
38					
39					△
40					X
41					○
42					△
43					X
44					○
45					
46		四・か	きつね	と けん灯 を準備	○
47	㉗→抽出	四・か	きつね	と けん灯 を準備	X

文中から根拠をどの程度見出しているか

○ 12 小14
 △ 19 X
 X 19 → 67%
 ? 1 合っていない
 と感じている。

あなたは、宮沢賢治が『雪わたり』という題名をつけたのはなぜだと思いますか。

理由をわたり。キャラクターと人間の心の壁。
だから、正直想ひださない。
登場人物が思ひださしていなかぬがゆふる。
雪原もわたりてひらめく。つに風うきむかく。

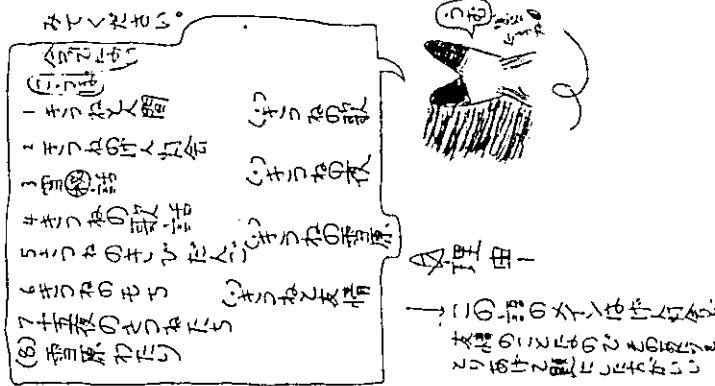
雪わたり ②

○丁度

あなたは、宮沢賢治が『雪わたり』という題名をつけたのはなぜだと思いますか。

雪がへじてこよどせ。かは行く行
子おとたの純三郎に会だ。
雪がへよこよそに歩く。

あなたは、『雪わたり』という題名は、物語の内容にあつてあると思いますか。合つていると思う人はその理由を、合つてしないと思う人は、あなたが合つてないと思う題名をつけてみてください。



あなたは、『雪わたり』という題名は、物語の内容にあつてあると思いますか。合つていると思う人はその理由を、合つてしないと思う人は、あなたが合つてないと思う題名をつけてみてください。

純三郎のキララだよ。

あなたは、宮沢賢治が『雪わたり』という題名をつけたのはなぜだと思いますか。

四郎とおとたが雪やかで、ついに会に行くから。
三郎は、上り、渡り、所は橋で下りる。

橋を上り、雪をこじらせて、足を踏み出さず、足を踏み出さず、
に、野原で、雪をこじらせて、足を踏み出さず、足を踏み出さず、

四郎は、雪をこじらせて、足を踏み出さず、足を踏み出さず、
雪をこじらせて、足を踏み出さず、足を踏み出さず、足を踏み出さず、
あなたは、『雪わたり』という題名は、物語の内容にあつてあると思いますか。合つていると思う人はその理由を、合つてしないと思う人は、あなたが合つてないと思う題名をつけてみてください。

合つてないよ。

題名「雪わたり」がいいですか？

理由：この物語は、たゞじてかまつた人間の心の壁を雪わたりといふ。たゞじてかまつた人間の心の壁を雪わたりといふ。たゞじてかまつた人間の心の壁を雪わたりといふ。たゞじてかまつた人間の心の壁を雪わたりといふ。

あなたは、宮沢賢治が『雪わたり』という題名をつけたのはなぜだと思いますか。

四郎とおとたが雪やかで、学校の近くで会に行く
ために、大型石子も雪も歩く。たゞ雪を歩かないで歩くから。

あなたは、『雪わたり』という題名は、物語の内容にあつてあると思いますか。合つていると思う人はその理由を、合つてしないと思う人は、あなたが合つてないと思う題名をつけてみてください。

合つてないよ。

自分で考えた題名
不思議な子供ね

理由

キララが雪やかで、足を踏み出さず、足を踏み出さず、
足を踏み出さず、足を踏み出さず、足を踏み出さず、

あなたは、宮沢賢治が『雪わたり』という題名をつけたのはなぜだと思いますか。

三、第三輯水母子目。

→ “新規開拓”の新規開拓→
→ 新規開拓→新規開拓→新規開拓

西行の歌、今更に歌う。

あなたは、「書わたり」という題名は、物語の内容にあっていいと思いますか。合っていると思う人はその理由を、合っていないと思う人は、あなたが合っていると思う題名をつけてみてください。

あなたは、吉沢賢治が『雪わたり』という題名をつけたのはなぜだと思いますか。

○ 雨冒が、十七時に雨も止む。父下井、母下井
一、会食。二十日、父下井、母下井。
林を進む。之がアモ、子の申す四郎、かく子
分色口筋体験ちかく三十分。

⑥「西ノリ、アーヴィング」入社二ヶ月目で、
「入社トガ、ナシル」即ち第三郎が宣
傳部長に昇進した。宣傳部長は、宣傳
部の頭である。

あなたは、「言わたり」という固有名は、物語の内容にあつてあると略に書つか。合ひてこゝで思つる人はその理由を、合ひてこゝで思つる人は、あなたが合ひてこゝで思つる固有名をかけてみてください。

① サイドの体験にハマるが、トーナメント戦では、この内容にてかかれていたり運び題名が異なる。

あなたは、宮沢賢治が『雪わたり』という題名をつけたのはなぜだと思いますか。

あなたは、「書わたり」という題名は、物語の内容にあつていい
ると思いますか。合つてないと思う人はその理由を、合つて
いないと思う人は、あなたが合つてないと思う題名をつけて
みてください。

四百一

• 二ノ屋の事務所にて、「新規開拓」の企画書を提出する。

あなたは、宮沢賢治が『雪わたり』という題名をつけたのはなぜだと思いますか。

~~116~~ ~~117~~ ~~118~~ ~~119~~ ~~120~~ ~~121~~ ~~122~~ ~~123~~ ~~124~~ ~~125~~ ~~126~~ ~~127~~ ~~128~~ ~~129~~ ~~130~~ ~~131~~ ~~132~~ ~~133~~ ~~134~~ ~~135~~ ~~136~~ ~~137~~ ~~138~~ ~~139~~ ~~140~~ ~~141~~ ~~142~~ ~~143~~ ~~144~~ ~~145~~ ~~146~~ ~~147~~ ~~148~~ ~~149~~ ~~150~~ ~~151~~ ~~152~~ ~~153~~ ~~154~~ ~~155~~ ~~156~~ ~~157~~ ~~158~~ ~~159~~ ~~160~~ ~~161~~ ~~162~~ ~~163~~ ~~164~~ ~~165~~ ~~166~~ ~~167~~ ~~168~~ ~~169~~ ~~170~~ ~~171~~ ~~172~~ ~~173~~ ~~174~~ ~~175~~ ~~176~~ ~~177~~ ~~178~~ ~~179~~ ~~180~~ ~~181~~ ~~182~~ ~~183~~ ~~184~~ ~~185~~ ~~186~~ ~~187~~ ~~188~~ ~~189~~ ~~190~~ ~~191~~ ~~192~~ ~~193~~ ~~194~~ ~~195~~ ~~196~~ ~~197~~ ~~198~~ ~~199~~ ~~200~~ ~~201~~ ~~202~~ ~~203~~ ~~204~~ ~~205~~ ~~206~~ ~~207~~ ~~208~~ ~~209~~ ~~210~~ ~~211~~ ~~212~~ ~~213~~ ~~214~~ ~~215~~ ~~216~~ ~~217~~ ~~218~~ ~~219~~ ~~220~~ ~~221~~ ~~222~~ ~~223~~ ~~224~~ ~~225~~ ~~226~~ ~~227~~ ~~228~~ ~~229~~ ~~230~~ ~~231~~ ~~232~~ ~~233~~ ~~234~~ ~~235~~ ~~236~~ ~~237~~ ~~238~~ ~~239~~ ~~240~~ ~~241~~ ~~242~~ ~~243~~ ~~244~~ ~~245~~ ~~246~~ ~~247~~ ~~248~~ ~~249~~ ~~250~~ ~~251~~ ~~252~~ ~~253~~ ~~254~~ ~~255~~ ~~256~~ ~~257~~ ~~258~~ ~~259~~ ~~260~~ ~~261~~ ~~262~~ ~~263~~ ~~264~~ ~~265~~ ~~266~~ ~~267~~ ~~268~~ ~~269~~ ~~270~~ ~~271~~ ~~272~~ ~~273~~ ~~274~~ ~~275~~ ~~276~~ ~~277~~ ~~278~~ ~~279~~ ~~280~~ ~~281~~ ~~282~~ ~~283~~ ~~284~~ ~~285~~ ~~286~~ ~~287~~ ~~288~~ ~~289~~ ~~290~~ ~~291~~ ~~292~~ ~~293~~ ~~294~~ ~~295~~ ~~296~~ ~~297~~ ~~298~~ ~~299~~ ~~300~~ ~~301~~ ~~302~~ ~~303~~ ~~304~~ ~~305~~ ~~306~~ ~~307~~ ~~308~~ ~~309~~ ~~310~~ ~~311~~ ~~312~~ ~~313~~ ~~314~~ ~~315~~ ~~316~~ ~~317~~ ~~318~~ ~~319~~ ~~320~~ ~~321~~ ~~322~~ ~~323~~ ~~324~~ ~~325~~ ~~326~~ ~~327~~ ~~328~~ ~~329~~ ~~330~~ ~~331~~ ~~332~~ ~~333~~ ~~334~~ ~~335~~ ~~336~~ ~~337~~ ~~338~~ ~~339~~ ~~340~~ ~~341~~ ~~342~~ ~~343~~ ~~344~~ ~~345~~ ~~346~~ ~~347~~ ~~348~~ ~~349~~ ~~350~~ ~~351~~ ~~352~~ ~~353~~ ~~354~~ ~~355~~ ~~356~~ ~~357~~ ~~358~~ ~~359~~ ~~360~~ ~~361~~ ~~362~~ ~~363~~ ~~364~~ ~~365~~ ~~366~~ ~~367~~ ~~368~~ ~~369~~ ~~370~~ ~~371~~ ~~372~~ ~~373~~ ~~374~~ ~~375~~ ~~376~~ ~~377~~ ~~378~~ ~~379~~ ~~380~~ ~~381~~ ~~382~~ ~~383~~ ~~384~~ ~~385~~ ~~386~~ ~~387~~ ~~388~~ ~~389~~ ~~390~~ ~~391~~ ~~392~~ ~~393~~ ~~394~~ ~~395~~ ~~396~~ ~~397~~ ~~398~~ ~~399~~ ~~400~~ ~~401~~ ~~402~~ ~~403~~ ~~404~~ ~~405~~ ~~406~~ ~~407~~ ~~408~~ ~~409~~ ~~410~~ ~~411~~ ~~412~~ ~~413~~ ~~414~~ ~~415~~ ~~416~~ ~~417~~ ~~418~~ ~~419~~ ~~420~~ ~~421~~ ~~422~~ ~~423~~ ~~424~~ ~~425~~ ~~426~~ ~~427~~ ~~428~~ ~~429~~ ~~430~~ ~~431~~ ~~432~~ ~~433~~ ~~434~~ ~~435~~ ~~436~~ ~~437~~ ~~438~~ ~~439~~ ~~440~~ ~~441~~ ~~442~~ ~~443~~ ~~444~~ ~~445~~ ~~446~~ ~~447~~ ~~448~~ ~~449~~ ~~450~~ ~~451~~ ~~452~~ ~~453~~ ~~454~~ ~~455~~ ~~456~~ ~~457~~ ~~458~~ ~~459~~ ~~460~~ ~~461~~ ~~462~~ ~~463~~ ~~464~~ ~~465~~ ~~466~~ ~~467~~ ~~468~~ ~~469~~ ~~470~~ ~~471~~ ~~472~~ ~~473~~ ~~474~~ ~~475~~ ~~476~~ ~~477~~ ~~478~~ ~~479~~ ~~480~~ ~~481~~ ~~482~~ ~~483~~ ~~484~~ ~~485~~ ~~486~~ ~~487~~ ~~488~~ ~~489~~ ~~490~~ ~~491~~ ~~492~~ ~~493~~ ~~494~~ ~~495~~ ~~496~~ ~~497~~ ~~498~~ ~~499~~ ~~500~~ ~~501~~ ~~502~~ ~~503~~ ~~504~~ ~~505~~ ~~506~~ ~~507~~ ~~508~~ ~~509~~ ~~510~~ ~~511~~ ~~512~~ ~~513~~ ~~514~~ ~~515~~ ~~516~~ ~~517~~ ~~518~~ ~~519~~ ~~520~~ ~~521~~ ~~522~~ ~~523~~ ~~524~~ ~~525~~ ~~526~~ ~~527~~ ~~528~~ ~~529~~ ~~530~~ ~~531~~ ~~532~~ ~~533~~ ~~534~~ ~~535~~ ~~536~~ ~~537~~ ~~538~~ ~~539~~ ~~540~~ ~~541~~ ~~542~~ ~~543~~ ~~544~~ ~~545~~ ~~546~~ ~~547~~ ~~548~~ ~~549~~ ~~550~~ ~~551~~ ~~552~~ ~~553~~ ~~554~~ ~~555~~ ~~556~~ ~~557~~ ~~558~~ ~~559~~ ~~560~~ ~~561~~ ~~562~~ ~~563~~ ~~564~~ ~~565~~ ~~566~~ ~~567~~ ~~568~~ ~~569~~ ~~570~~ ~~571~~ ~~572~~ ~~573~~ ~~574~~ ~~575~~ ~~576~~ ~~577~~ ~~578~~ ~~579~~ ~~580~~ ~~581~~ ~~582~~ ~~583~~ ~~584~~ ~~585~~ ~~586~~ ~~587~~ ~~588~~ ~~589~~ ~~590~~ ~~591~~ ~~592~~ ~~593~~ ~~594~~ ~~595~~ ~~596~~ ~~597~~ ~~598~~ ~~599~~ ~~600~~ ~~601~~ ~~602~~ ~~603~~ ~~604~~ ~~605~~ ~~606~~ ~~607~~ ~~608~~ ~~609~~ ~~610~~ ~~611~~ ~~612~~ ~~613~~ ~~614~~ ~~615~~ ~~616~~ ~~617~~ ~~618~~ ~~619~~ ~~620~~ ~~621~~ ~~622~~ ~~623~~ ~~624~~ ~~625~~ ~~626~~ ~~627~~ ~~628~~ ~~629~~ ~~630~~ ~~631~~ ~~632~~ ~~633~~ ~~634~~ ~~635~~ ~~636~~ ~~637~~ ~~638~~ ~~639~~ ~~640~~ ~~641~~ ~~642~~ ~~643~~ ~~644~~ ~~645~~ ~~646~~ ~~647~~ ~~648~~ ~~649~~ ~~650~~ ~~651~~ ~~652~~ ~~653~~ ~~654~~ ~~655~~ ~~656~~ ~~657~~ ~~658~~ ~~659~~ ~~660~~ ~~661~~ ~~662~~ ~~663~~ ~~664~~ ~~665~~ ~~666~~ ~~667~~ ~~668~~ ~~669~~ ~~670~~ ~~671~~ ~~672~~ ~~673~~ ~~674~~ ~~675~~ ~~676~~ ~~677~~ ~~678~~ ~~679~~ ~~680~~ ~~681~~ ~~682~~ ~~683~~ ~~684~~ ~~685~~ ~~686~~ ~~687~~ ~~688~~ ~~689~~ ~~690~~ ~~691~~ ~~692~~ ~~693~~ ~~694~~ ~~695~~ ~~696~~ ~~697~~ ~~698~~ ~~699~~ ~~700~~ ~~701~~ ~~702~~ ~~703~~ ~~704~~ ~~705~~ ~~706~~ ~~707~~ ~~708~~ ~~709~~ ~~710~~ ~~711~~ ~~712~~ ~~713~~ ~~714~~ ~~715~~ ~~716~~ ~~717~~ ~~718~~ ~~719~~ ~~720~~ ~~721~~ ~~722~~ ~~723~~ ~~724~~ ~~725~~ ~~726~~ ~~727~~ ~~728~~ ~~729~~ ~~730~~ ~~731~~ ~~732~~ ~~733~~ ~~734~~ ~~735~~ ~~736~~ ~~737~~ ~~738~~ ~~739~~ ~~740~~ ~~741~~ ~~742~~ ~~743~~ ~~744~~ ~~745~~ ~~746~~ ~~747~~ ~~748~~ ~~749~~ ~~750~~ ~~751~~ ~~752~~ ~~753~~ ~~754~~ ~~755~~ ~~756~~ ~~757~~ ~~758~~ ~~759~~ ~~760~~ ~~761~~ ~~762~~ ~~763~~ ~~764~~ ~~765~~ ~~766~~ ~~767~~ ~~768~~ ~~769~~ ~~770~~ ~~771~~ ~~772~~ ~~773~~ ~~774~~ ~~775~~ ~~776~~ ~~777~~ ~~778~~ ~~779~~ ~~780~~ ~~781~~ ~~782~~ ~~783~~ ~~784~~ ~~785~~ ~~786~~ ~~787~~ ~~788~~ ~~789~~ ~~790~~ ~~791~~ ~~792~~ ~~793~~ ~~794~~ ~~795~~ ~~796~~ ~~797~~ ~~798~~ ~~799~~ ~~800~~ ~~801~~ ~~802~~ ~~803~~ ~~804~~ ~~805~~ ~~806~~ ~~807~~ ~~808~~ ~~809~~ ~~8010~~ ~~8011~~ ~~8012~~ ~~8013~~ ~~8014~~ ~~8015~~ ~~8016~~ ~~8017~~ ~~8018~~ ~~8019~~ ~~8020~~ ~~8021~~ ~~8022~~ ~~8023~~ ~~8024~~ ~~8025~~ ~~8026~~ ~~8027~~ ~~8028~~ ~~8029~~ ~~8030~~ ~~8031~~ ~~8032~~ ~~8033~~ ~~8034~~ ~~8035~~ ~~8036~~ ~~8037~~ ~~8038~~ ~~8039~~ ~~8040~~ ~~8041~~ ~~8042~~ ~~8043~~ ~~8044~~ ~~8045~~ ~~8046~~ ~~8047~~ ~~8048~~ ~~8049~~ ~~8050~~ ~~8051~~ ~~8052~~ ~~8053~~ ~~8054~~ ~~8055~~ ~~8056~~ ~~8057~~ ~~8058~~ ~~8059~~ ~~8060~~ ~~8061~~ ~~8062~~ ~~8063~~ ~~8064~~ ~~8065~~ ~~8066~~ ~~8067~~ ~~8068~~ ~~8069~~ ~~8070~~ ~~8071~~ ~~8072~~ ~~8073~~ ~~8074~~ ~~8075~~ ~~8076~~ ~~8077~~ ~~8078~~ ~~8079~~ ~~8080~~ ~~8081~~ ~~8082~~ ~~8083~~ ~~8084~~ ~~8085~~ ~~8086~~ ~~8087~~ ~~8088~~ ~~8089~~ ~~8090~~ ~~8091~~ ~~8092~~ ~~8093~~ ~~8094~~ ~~8095~~ ~~8096~~ ~~8097~~ ~~8098~~ ~~8099~~ ~~80100~~ ~~80101~~ ~~80102~~ ~~80103~~ ~~80104~~ ~~80105~~ ~~80106~~ ~~80107~~ ~~80108~~ ~~80109~~ ~~80110~~ ~~80111~~ ~~80112~~ ~~80113~~ ~~80114~~ ~~80115~~ ~~80116~~ ~~80117~~ ~~80118~~ ~~80119~~ ~~80120~~ ~~80121~~ ~~80122~~ ~~80123~~ ~~80124~~ ~~80125~~ ~~80126~~ ~~80127~~ ~~80128~~ ~~80129~~ ~~80130~~ ~~80131~~ ~~80132~~ ~~80133~~ ~~80134~~ ~~80135~~ ~~80136~~ ~~80137~~ ~~80138~~ ~~80139~~ ~~80140~~ ~~80141~~ ~~80142~~ ~~80143~~ ~~80144~~ ~~80145~~ ~~80146~~ ~~80147~~ ~~80148~~ ~~80149~~ ~~80150~~ ~~80151~~ ~~80152~~ ~~80153~~ ~~80154~~ ~~80155~~ ~~80156~~ ~~80157~~ ~~80158~~ ~~80159~~ ~~80160~~ ~~80161~~ ~~80162~~ ~~80163~~ ~~80164~~ ~~80165~~ ~~80166~~ ~~80167~~ ~~80168~~ ~~80169~~ ~~80170~~ ~~80171~~ ~~80172~~ ~~80173~~ ~~80174~~ ~~80175~~ ~~80176~~ ~~80177~~ ~~80178~~ ~~80179~~ ~~80180~~ ~~80181~~ ~~80182~~ ~~80183~~ ~~80184~~ ~~80185~~ ~~80186~~ ~~80187~~ ~~80188~~ ~~80189~~ ~~80190~~ ~~80191~~ ~~80192~~ ~~80193~~ ~~80194~~ ~~80195~~ ~~80196~~ ~~80197~~ ~~80198~~ ~~80199~~ ~~80200~~ ~~80201~~ ~~80202~~ ~~80203~~ ~~80204~~ ~~80205~~ ~~80206~~ ~~80207~~ ~~80208~~ ~~80209~~ ~~80210~~ ~~80211~~ ~~80212~~ ~~80213~~ ~~80214~~ ~~80215~~ ~~80216~~ ~~80217~~ ~~80218~~ ~~80219~~ ~~80220~~ ~~80221~~ ~~80222~~ ~~80223~~ ~~80224~~ ~~80225~~ ~~80226~~ ~~80227~~ ~~80228~~ ~~80229~~ ~~80230~~ ~~80231~~ ~~80232~~ ~~80233~~ ~~80234~~ ~~80235~~ ~~80236~~ ~~80237~~ ~~80238~~ ~~80239~~ ~~80240~~ ~~80241~~ ~~80242~~ ~~80243~~ ~~80244~~ ~~80245~~ ~~80246~~ ~~80247~~ ~~80248~~ ~~80249~~ ~~80250~~ ~~80251~~ ~~80252~~ ~~80253~~ ~~80254~~ ~~80255~~ ~~80256~~ ~~80257~~ ~~80258~~ ~~80259~~ ~~80260~~ ~~80261~~ ~~80262~~ ~~80263~~ ~~80264~~ ~~80265~~ ~~80266~~ ~~80267~~ ~~80268~~ ~~80269~~ ~~80270~~ ~~80271~~ ~~80272~~ ~~80273~~ ~~80274~~ ~~80275~~ ~~80276~~ ~~80277~~ ~~80278~~ ~~80279~~ ~~80280~~ ~~80281~~ ~~80282~~ ~~80283~~ ~~80284~~ ~~80285~~ ~~80286~~ ~~80287~~ ~~80288~~ ~~80289~~ ~~80290~~ ~~80291~~ ~~80292~~ ~~80293~~ ~~80294~~ ~~80295~~ ~~80296~~ ~~80297~~ ~~80298~~ ~~80299~~ ~~80300~~ ~~80301~~ ~~80302~~ ~~80303~~ ~~80304~~ ~~80305~~ ~~80306~~ ~~80307~~ ~~80308~~ ~~80309~~ ~~80310~~ ~~80311~~ ~~80312~~ ~~80313~~ ~~80314~~ ~~80315~~ ~~80316~~ ~~80317~~ ~~80318~~ ~~80319~~ ~~80320~~ ~~80321~~ ~~80322~~ ~~80323~~ ~~80324~~ ~~80325~~ ~~80326~~ ~~80327~~ ~~80328~~ ~~80329~~ ~~80330~~ ~~80331~~ ~~80332~~ ~~80333~~ ~~80334~~ ~~80335~~ ~~80336~~ ~~80337~~ ~~80338~~ ~~80339~~ ~~80340~~ ~~80341~~ ~~80342~~ ~~80343~~ ~~80344~~ ~~80345~~ ~~80346~~ ~~80347~~ ~~80348~~ ~~80349~~ ~~80350~~ ~~80351~~ ~~80352~~ ~~80353~~ ~~80354~~ ~~80355~~ ~~80356~~ ~~80357~~ ~~80358~~ ~~80359~~ ~~80360~~ ~~80361~~ ~~80362~~ ~~80363~~ ~~80364~~ ~~80365~~ ~~80366~~ ~~80367~~ ~~80368~~ ~~80369~~ ~~80370~~ ~~80371~~ ~~80372~~ ~~80373~~ ~~80374~~ ~~80375~~ ~~80376~~ ~~80377~~ ~~80378~~ ~~80379~~ ~~80380~~ ~~80381~~ ~~80382~~ ~~80383~~ ~~80384~~ ~~80385~~ ~~80386~~ ~~80387~~ ~~80388~~ ~~80389~~ ~~80390~~ ~~80391~~ ~~80392~~ ~~80393~~ ~~80394~~ ~~80395~~ ~~80396~~ ~~80397~~ ~~80398~~ ~~80399~~ ~~80400~~ ~~80401~~ ~~80402~~ ~~80403~~ ~~80404~~ ~~80405~~ ~~80406~~ ~~80407~~ ~~80408~~ ~~80409~~ ~~80410~~ ~~80411~~ ~~80412~~ ~~80413~~ ~~80414~~ ~~80415~~ ~~80416~~ ~~80417~~ ~~80418~~ ~~80419~~ ~~80420~~ ~~80421~~ ~~80422~~ ~~80423~~ ~~80424~~ ~~80425~~ ~~80426~~ ~~80427~~ ~~80428~~ ~~80429~~ ~~80430~~ ~~80431~~ ~~80432~~ ~~80433~~ ~~80434~~ ~~80435~~ ~~80436~~ ~~80437~~ ~~80438~~ ~~80439~~ ~~80440~~ ~~80441~~ ~~80442~~ ~~80443~~ ~~80444~~ ~~80445~~ ~~80446~~ ~~80447~~ ~~80448~~ ~~80449~~ ~~80450~~ ~~80451~~ ~~80452~~ ~~80453~~ ~~80454~~ ~~80455~~ ~~80456~~ ~~80457~~ ~~80458~~ ~~80459~~ ~~80460~~ ~~80461~~ ~~80462~~ ~~80463~~ ~~80464~~ ~~80465~~ ~~80466~~ ~~80467~~ ~~80468~~ ~~80469~~ ~~80470~~ ~~80471~~ ~~80472~~ ~~80473~~ ~~80474~~ ~~80475~~ ~~80476~~ ~~80477~~ ~~80478~~ ~~80479~~ ~~80480~~ ~~80481~~ ~~80482~~ ~~80483~~ ~~80484~~ ~~80485~~ ~~80486~~ ~~80487~~ ~~80488~~ ~~80489~~ ~~80490~~ ~~80491~~ ~~80492~~ ~~80493~~ ~~80494~~ ~~80495~~ ~~80496~~ ~~80497~~ ~~80498~~ ~~80499~~ ~~80500~~ ~~80501~~ ~~80502~~ ~~80503~~ ~~80504~~ ~~80505~~ ~~80506~~ ~~80507~~ ~~80508~~ ~~80509~~ ~~80510~~ ~~80511~~ ~~80512~~ ~~80513~~ ~~80514~~ ~~80515~~ ~~80516~~ ~~80517~~ ~~80518~~ ~~80519~~ ~~80520~~ ~~80521~~ ~~80522~~ ~~80523~~ ~~80524~~ ~~80525~~ ~~80526~~ ~~80527~~ ~~80528~~ ~~80529~~ ~~80530~~ ~~80531~~ ~~80532~~ ~~80533~~ ~~80534~~ ~~80535~~ ~~80536~~ ~~80537~~ ~~80538~~ ~~80539~~ ~~80540~~ ~~80541~~ ~~80542~~ ~~80543~~ ~~80544~~ ~~80545~~ ~~80546~~ ~~80547~~ ~~80548~~ ~~80549~~ ~~80550~~ ~~80551~~ ~~80552~~ ~~80553~~ ~~80554~~ ~~80555~~ ~~80556~~ ~~80557~~ ~~80558~~ ~~80559~~ ~~80560~~ ~~80561~~ ~~80562~~ ~~80563~~ ~~80564~~ ~~80565~~ ~~80566~~ ~~80567~~ ~~80568~~ ~~80569~~ ~~80570~~ ~~80571~~ ~~80572~~ ~~80573~~

あなたは、「西わたり」という題名は、物語の内容にあつてい
るかと思いますが。合ひてて思つて思う人はその理由を、合ひて
しならうと思つた人は、あなたが合ひてて思つた題名をつけて
みてください。

資料5

全校研
5年生
国語科

『本の世界を深めよう』 やまなし

授業者：岡田 一伸

この単元では、「物語を読んで心に生まれる感動やユーモア、安らぎは優れた叙述が生み出す。」(学習指導要領解説より一部引用)という見方や考え方を培いたい。「優れた」という感覚には、個人差があると思うが、作者が伝えようとしたことを考え合う過程で、叙述に自分なりの意味を見出し、伝え合う活動を通して、考えが広がったり深まったりすることを実感できることをねらいたい。

I 見方・考え方を引き出す道筋

題名の適否を判断する活動を通し、叙述への着目に向かう。宮沢賢治の物語は、事件に沿って登場人物の言動の意味を考えるというこれまでの読み方では、なかなかおもしろさを感じ取られないことが多い。

そこで今回は、『題名』についてその適否を判断する活動を通して、叙述の意味するものへ着目していくような逆の流れにした。『雪わたり』をはじめに扱い、題名の意味を問う。次に、より内容の抽象的な『やまなし』で考えてみる。事件と言動から積み上げていくのでは考えにくいお話を題名の意味を問うことで叙述のよさを自分で意味づけしていく姿が生み出せる。この学習後もう一度『雪わたり』の意味を考える機会を作ったり、他の賢治作品への読書意欲を高めたりしたい。

II 見方・考え方の高まりに向かおうとする場

題名の適否を判断する活動から、叙述に込められた意味を自分の考えとしてもとうとする。

『雪わたり』でその題名の意味することを尋ねると、「雪をわたっていけるときに幻灯会に行けるからつけたのかな。」といったお話の筋から意味づけする子が多い。しかし、『やまなし』では、二枚の幻灯のうちの一枚にしか出てこないものであり、筋から考えればその意味するところがよくわからないと思いがちである。そこで、もう一枚の方に同じような位置づけで出てくる「かわせみ」と比較して考えられるようにする。そうすることで、『やまなし』と『かわせみ』の描かれ方に着目し、その叙述の意味するものが何なのかという見方で自分なりに考えてみようとする姿が生まれる。

III 活動構成 (10時間扱い 本時 5/10)

単元の目標 宮沢賢治の物語を読み、優れた叙述がもたらす効果について自分の考えをもつことができる。

他者の見方や考え方について、根拠について考え合うことを通して理解し合おうとする。

活動1 宮沢賢治の『雪わたり』を読み、これまで学校で読んできた物語と比べてみる。(2時間)

【表現への着目】

表現の仕方が不思議だなあ。
歌のような文がたくさんある。
比喩がたくさんある。
色の感じが強く表れている。

宮沢賢治の物語って何を伝えたいの？

【内容への着目】

起承転結がはっきりしない。
事件らしい事件がない。
題名と内容のつながりがよく分からぬ。

活動2 題名から伝えたいことを考えてみよう。『雪わたり』となぜつけたのかな。内容に合っているかな。(1時間)

雪をわたっていけるときにだけ子ぎつね紺三郎のいるところにいけるから。でも、「きつねと友情」の方が内容と合ってると思える。

表現と内容
は関係がと
っても深い

活動3 (3時間 本時 5/11)

『やまなし』を読んでみよう。なぜ『やまなし』という題名にしたのかな。

活動4 3時間
『雪わたり』や他の
お話を読んでもう一度考えてみたい。

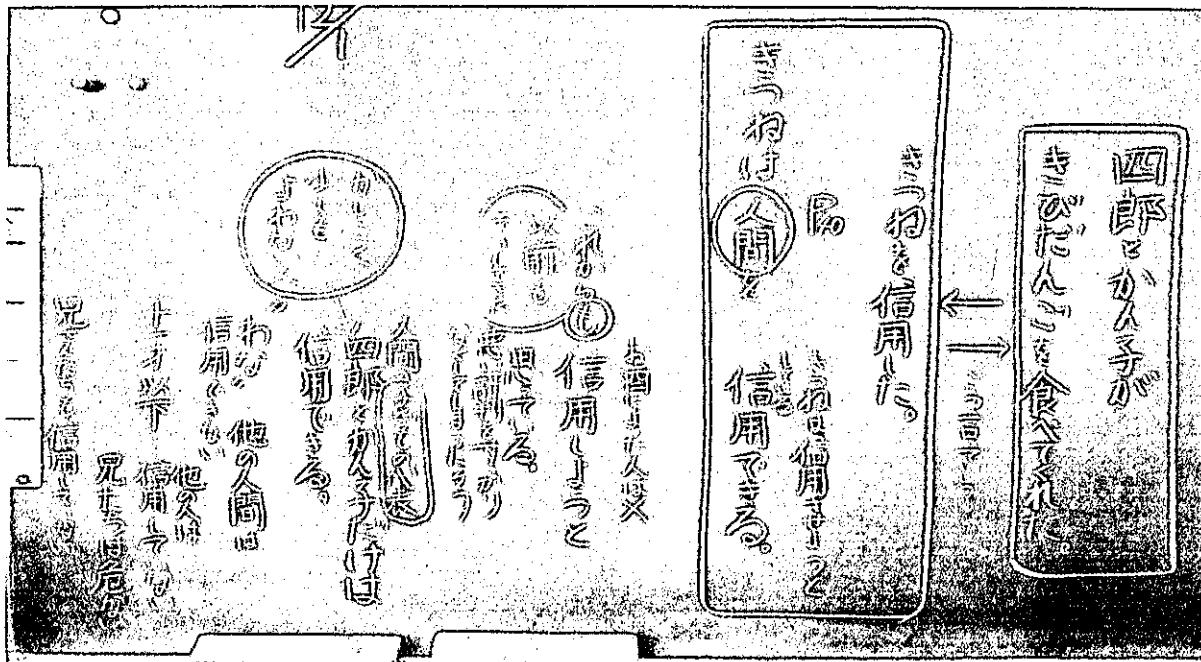
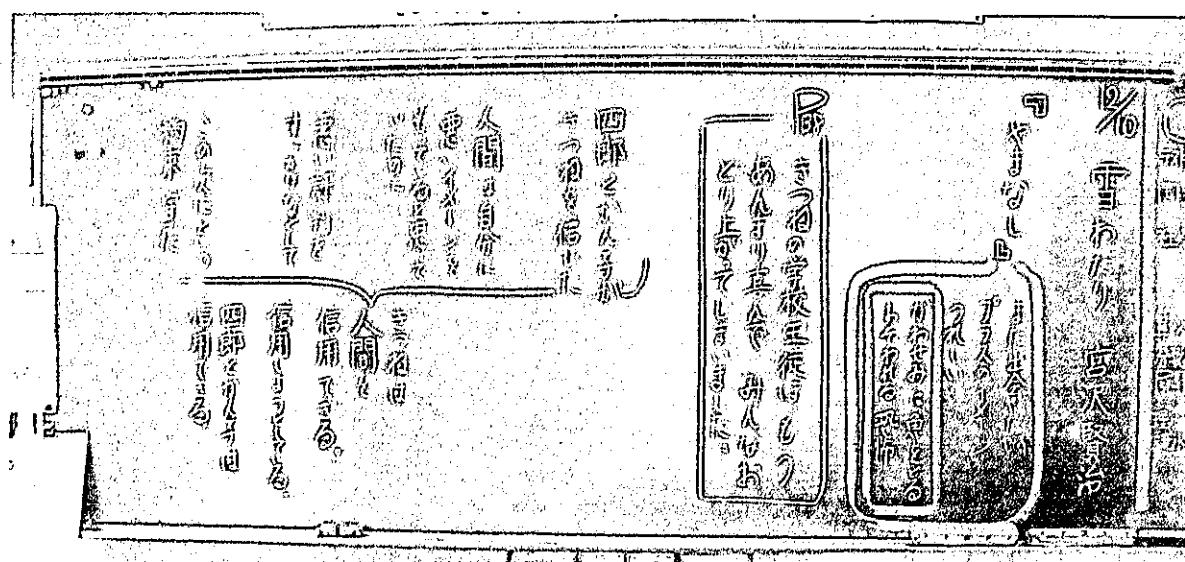
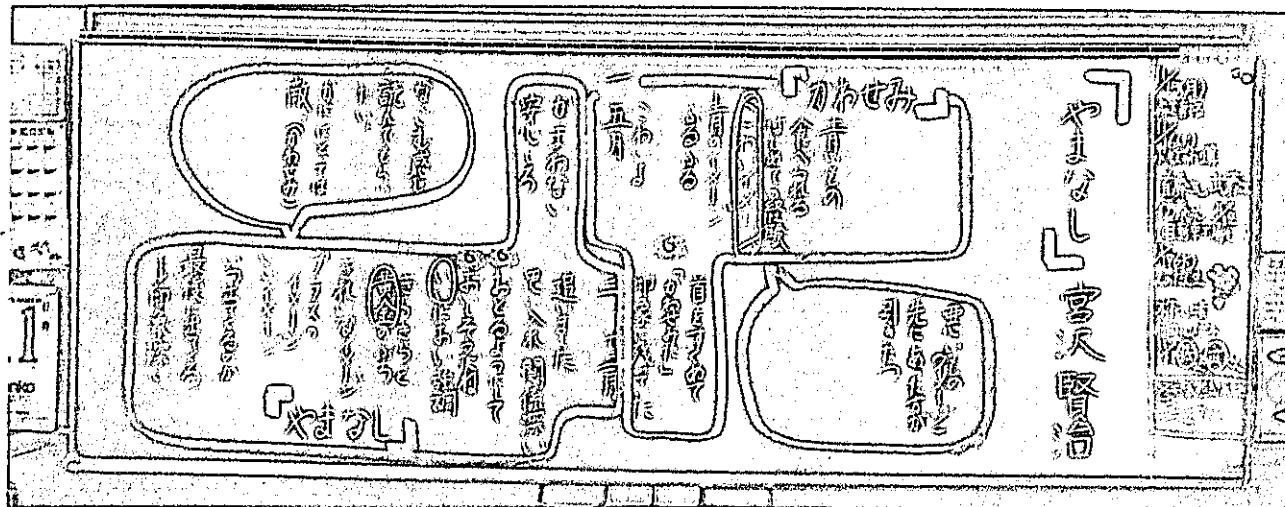
『やまなし』と『かわせみ』ならどちらが題名にふさわしいかな。
どちらもそれぞれ天井からきたものなのになぜ『やまなし』が。

IV 本時の学習

【目標】 「やまなし」と「かわせみ」のいずれが題名としてふさわしいかを考え合う活動を通して、優れた叙述の効果について自分の考えをもつことができる。

子どもの学習活動	教師のかかわりと評価
<p>【前時まで】『やまなし』を読み、「一 五月」と「二 十二月」の内容を「かにの親子が何を見たのか」という視点から比べて考えている。題名の『やまなし』が「十二月」にだけ出てくるもので、それに対応するものが「五月」では「かわせみ」であり、なぜ『やまなし』が題名として取り上げられているのかを疑問に思っている。</p> <p>『やまなし』と『かわせみ』では、どちらが題名にふさわしいかを考え、話し合うことを通して、賢治の伝えたかったことを考えよう。</p> <p>2つのグループに討論してもらしながら考え方合おう</p> <p>『やまなし』の立場で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなしは、かわせみと比べて「黄金のぶち」とか「いいにおい」、「おどるようにして(追う)」などとても平和で優しい感じがする。これが賢治の伝えたかったこと。 ・五月は死とか殺されるなどの暗いイメージがある。賢治は十二月で「いいにおいだろう」「おいしそうだね」など生きることの喜びを伝えたかった。 <p>『かわせみ』の立場で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわせみは、「おかしなもの」「こわい所」へ連れて行く者として描かれている。平和そうな小川の中でも、常に生きることの大変さ、命の大切さを考えさせようとしている。だから「かわせみ」はこのお話にとって大切な存在。だから題名には『かわせみ』。 ・五月は暗いイメージのようだが違う。かにの親子にとってはかわせみは「かまわないもの」。 <p>賢治が『やまなし』を題名にしたのは、どうしてなのかな。</p> <p>「二 十二月」の方をより強く伝えたいことをはっきりさせたかったからではないだろうか。</p> <p>「五月」があるから、「十二月」の意味がはっきりする。</p> <p>賢治は『やまなし』という物語を通して、自然の厳しさの中で生きることの喜びを伝えたかったのではないか。</p> <p>『雪わたり』の題名には、もっと深い意味が込められていたのかな。賢治の他のお話を読んでみたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の「討論」の形式で代表2グループが話し合い、他の7グループは自分の考えと比べながら聞き、適宜メモをとる。 それぞれの立場からの主張を、根拠となる言葉を明確にしながら板書し、整理していく。 代表の討論が終わったら、他のグループの意見を聞き、題名に込めた賢治の思いをみんなで考え合う場を設定する。 意見が「五月」にふれられない場合は、「五月は必要ないのだろうか」と問い合わせ、「五月」の叙述の効果についても考えられるようにする。 <p>評 伝えたいことと叙述(表現)にはつながりがあることに気付き、題名に込められた作者の思いを自分なりに考えることができたか。</p>

資料5 『雪わたり』と『やまなし』の板書



主張カード

(4) グループ 答前
どちらが題名にふさわしいか。

自分たちの立場 やまなし

チーム内の分担

はじめの発表者 () まとめの発表者 ()

自分たちの主張
やまなしの方が題名
にふさわしいと感じます。
やまなしはかにたちにとて
よいてんざいとして書かれています。
それがりでです、なぜうどは
きでへまさく。

予想される質問や反論
しかし、がやせめの方があに
でできていんじうかが強い
ので、まないのでどうか。
やまなしは、ひしがてへ
やまなしは、ひしがてへ

主張する理由・文章中の言葉
やまなし(が)にとがわす
てしている(がわせめはがる)。
黄(こ)金(きん)ということばが
たくさんでいる。
けにとてよいねえ。

実際の質問や反論

①「声も出ず」の部分
②「居つき」と「門」
「なかには」は結構なところの所
「かかし」はもの。多く

予想される質問や反論
自分たちの主張 どのよう?
自分たちの主張 いつ? なぜ?
魚を食べることで、なぜちがい?
をいたく。 つりがり/かかし
かわせめはと題(めい)めは
+ア・ト=ニカ+起ニすか? 題名は
1回目。初回駆除。 1/1
すみや? すみや?

最初の主張

色で表されといふ。かにいはがむかない。

最後のまとめ

最後のまとめ この小説のイメージは
色のイメージがいい合っている。
青い感じが、青から何と
想像しますか。
やまなしは合いました。

主張カード

(2) グループ 名前

テーマ
どちらが題名にしてふさわしいか。

自分たちの立場 力わせめナム

チーム内の分担

はじめの発表者 () まとめの発表者 ()

予想される質問や反論
自分たちの主張 いつ? なぜ?
魚を食べることで、なぜちがい?
をいたく。 つりがり/かかし
かわせめはと題(めい)めは
+ア・ト=ニカ+起ニすか? 題名は
1回目。初回駆除。 1/1
すみや? すみや?

予想される質問や反論
自分たちの主張 いつ? なぜ?
魚を食べることで、なぜちがい?
をいたく。 つりがり/かかし
かわせめはと題(めい)めは
+ア・ト=ニカ+起ニすか? 題名は
1回目。初回駆除。 1/1
すみや? すみや?

最初の主張

色で表されといふ。かにいはがむかない。

最後のまとめ

最後のまとめ この小説のイメージは
色のイメージがいい合っている。
青い感じが、青から何と
想像しますか。
やまなしは合いました。

主張カード

主張カード

(1) グループ名前
テーマ どちらが題名としていいか、

自分たちの立場 「かわせみ」チーム

チーム内の分担	はじめの発表者 () まとめる発表者 ()
自分たちの立場 「かわせみ」チーム	自分たちの立場 「かわせみ」チーム

主張する理由・文章中の言葉	実際の質問や反論
① どちらがいいか 強いイナーミー	かんけいもあっていたが、 かわせみの鳥もいる人た ちがさをねえでいるの？ かわせみと「かわせみ」 はどのどりも存在 していける。 11/9

最初の主張	議論での 強いて、これがいい だから、イナーミーない。
最後のまとめ	最後のまとめ 強いて、これがいい だから、イナーミーない。

(/). グループ名前

テーマ どちらが題名としていいか、

自分たちの立場
「まなじ」チーム

チーム内の分担	はじめの発表者 () まとめる発表者 ()
自分たちの立場 「まなじ」チーム	自分たちの立場 「まなじ」チーム

主張する理由・文章中の言葉	実際の質問や反論
自分たちの主張 がいい。あるが、かわせみはない。 11/10のあはるさんの言葉(かわせみば がいい)。 12の あはるさんの言葉(やまほは がいい)。	かんけいもあっていたが、 かわせみの鳥もいる人た ちがさをねえでいるの？ かわせみと「かわせみ」 はどのどりも存在 していける。 11/10

最初の主張	主人公とのかけい
最後のまとめ	最後のまとめ かわせみば、がにを食べたり(がいい)て、「おひる」としてしまったのは、 あるといつても、たしかど、(ういいに鳥たよ」などとおしゃれてくれたのは、 かやのが、父さんたがく、かわせみばがいいしない。 11/10 かわせみは どうがるか？